



「ふだんの暮らし」を幸せに

古志地区自治協会会長 太田 均

高市総理の成長戦略に期待が膨らむ一方、世界では戦火が絶えず、物価高が生活を直撃しています。今、将来への期待と不安が交錯しています。

我が古志地区に目を転じると、土手の桜が咲き誇る中、新設住宅が増え、活気ある街並みが整いつつあります。しかし、人口が増える一方で自治協会の加入率は五割を下回りました。「発展と円満を語り福祉を増進する」という目的の達成は、次第に難しさを増しています。とりわけ転入世帯の未加入や高齢者の脱退が顕著です。



この課題に対し、本年度は子育て世帯や高齢世帯を対象とした「会費減免制度」を新設しました。決定打には程遠いですが、大きな壁の前で右往左往しながらも「あずっていく」(難儀しながらも、もがき続ける)、決してあきらめることなく試行錯誤を重ねてまいります。

自治協会の目的にある「福祉」とは、「ふ」だんの「く」らしが「し」あわせにの頭文字とも言われます。皆様と知恵を出し合い、幸せの息づく古志地区となることを願っております。本年度もよろしくお願いたします。

コミュニティセンターの役割

センター長 増田健吉

現在、市内に43カ所設けられている「コミュニティセンター」は、社会教育法に定める公民館機能と市民学習、文化及びスポーツ・レクリエーション活動並びに自治会活動支援など地域の総合的な市民活動の拠点として、さらには、市の行政全般の情報収集・提供などの機能を有する施設として設置された公の施設です。

つまり、コミュニティセンターは公民館の機能を保持したうえで、地域と行政のつなぎ役として、住民への情報提供や各種情報の連絡調整、地域諸団体への側面的支援、諸団体間の調整、自立への支援等の役割を担っています。

古志コミュニティセンターには、4名の職員が在籍しており、自治協会をはじめ土木委員会、交通安全委員会、社会福祉協議会などの各団体の案内文書の作成や会計事務などを行っています。

古志町内の方々がコミセンへ行って「よかつたな」、「楽しかったな」と喜んでもらいたいという気持ちで仕事をしています。お気軽にお立ち寄り下さい。



5月行事予定

- 7日(木)りんごちゃん教室
- 13日(水)健康はつらつ教室
- 14日(木)文書配布日
- 17日(日)すまいる食堂
- 20日(水)元気サロン
- 27日(水)フルタイムウォーキング
- 28日(木)文書配布日

出雲第二中学校 着任ご挨拶

第二中学校長 石原康博



この度、出雲市立第二中学校の校長として着任しました石原康博と申します。

前任校は広島県との県境、中山間地域にある飯南町の赤来中学校です。斐川町から54号線を通って七、八十分かけて通勤していましたので、ずいぶん近くなりました。

第二中学校での勤務は初めてとなりますが、以前、第一中学校で剣道部の顧問をしていた際には、練習試合で何度かお世話になり、活気のある学校だと感じたことを思い出します。

この度ご縁をいただき、塩冶古志の地域で子どもたちの成長に関わることができるとは大変うれしく思っております。地域の皆様と連携しながら、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる学校づくりに努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

青色パトロール隊の活動について

古志見守りネットワーク 会長 板垣孝治



みなさん、青パト隊がいつ始まったのかご存じですか？実は2004年（平成16年）に制度化され、以後全国の防犯団体に活動が始まりました。

出雲地区では、なんとその年に中国地方で初めてとなる青パト隊が大社町で結成されました。大社、すごいですよね。当時は通称日御碕道路でのローリング隊による暴走行為、海岸での深夜花火等の迷惑行為が多発しており、地域の安全を自分たちの手で守る活動として開始され、以後出雲市全域に広がり現在に至っています。

古志町では2020年（令和2年）4月から青パト隊として活動を開始し、今年で丸6年になりました。現在の隊員は21名で、自分の車に取り付けた青色回転灯を点灯させて町内を巡回しています。主に子どもの見守りが中心で、下校時間帯に月2回、おおむね30分程度を基準に隊員各自が自分の都合のつく日にちと時間帯を選んで活動しています。このほか、隊員を4~5台の5班に分け、各班が年2回程度月初めの平日の午後3時から「統一行動日」として隊列を組んでのパトロールも行っています。

子どもへの声かけ、つきまといは性的犯罪の前兆事案で、去年の12月17日（午後3時頃）には下古志町内で発生しました。下校途中の児童が駐車車両の中にいた30歳くらいの男から、「学校帰り？お菓子いる？」と声をかけられた事案です。

私たち青パト隊は、子どもたちがこのような事案に巻き込まれないよう巡回しています。青パト隊の活動に参加して頂ける方、コミセンまでご連絡ください。一緒に活動しましょう。

御寄贈御礼 (R8・3・14~R8・4・10)

お志は、地区の事業に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

【香典返し】

伊藤和美様 (井上)



ひとひら抄



農作業が忙しくなった。今年も、生物にとつて暑さとの闘いが予想される。窓に張り付くのは、カメムシ。温暖化で益々出現数が増加して、臭い匂いのせいで、目の敵のように捕らえられない。白いカーテンの折り目に入り込んだ賢い敵は見逃すことにした。水を入れたペットボトルにかなりの数が浮いている。その匂いを放出するが故に人間から嫌がられるのは、かわいそうな事だ。田んぼの収穫時期に稲穂に吸い付くのは、イネカメムシ。やはり、害虫だ。今は、桜の季節。違う環境に飛び込む四月。

(悦)